

新任医師を紹介します



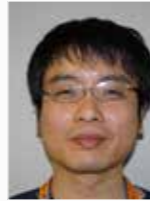
市民病院 ☎ 63-1115
※①専門 ②出身大学 ③卒業年次



藤井 績

市民病院で勤務するのは初めてですが、当院は長男と長女を授かった場所なので、深い縁を感じています。小児医療にまい進していきます。よろしくお願いします。

①小児科 ②熊本大学 ③平成 3 年



石黒 元

茨城県出身です。大学生のころから熊本に住み、今では熊本が大好きです。これから2年間、少しでも荒尾の力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

①研修医 ②熊本大学 ③平成 31 年



山村 智

熊本大学病院に勤務していました。今年で医師として10年目になり、責任をさらに感じる立場になりました。荒尾の地域医療に貢献できればと考えています。

①循環器内科 ②長崎大学 ③平成 22 年



中瀬 啓太

2年間、市民病院で研修をさせてもらうことになりました。3月に荒尾に来て、住みやすい街だなと思っています。皆さんの役に立てよう一生懸命頑張ります。

①研修医 ②熊本大学 ③平成 31 年



木村 俊寛

荒尾には小さいころによくグリーンランドに遊びに来ていました。少しずつなじんでいきたいと思っております。これからよろしくお願いします。

①皮膚科 ②熊本大学 ③平成 25 年



宮城 裕典

研修医1年目です。市民病院には、学生の時の実習でお世話になりました。荒尾のまちを気に入っています。荒尾の医療のために、精一杯頑張ります。

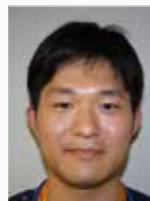
①研修医 ②熊本大学 ③平成 31 年



米村 光信

荒尾市出身です。市民病院での2年の初期研修後、県内の病院に勤務し、荒尾に戻ってきました。これまでの経験を生かしつつ、さらに成長していきたいです。

①整形外科 ②長崎大学 ③平成 25 年



山口 裕介

人の役に立ちたくて医師を志しました。これからはお世話になった人たちに恩返しができるよう、多くの人に必要とされる医師になれるよう頑張りたいです。

①研修医 ②熊本大学 ③平成 31 年



白濱 諒

昨年、神経内科から脳神経外科に名称が変わりました。脳神経外科と当科の医師5人で脳神経センターとして頑張ります。よろしくお願いします。

①脳神経内科 ②熊本大学 ③平成 28 年



川上 さき

研修医1年目です。市民病院には1年間の配属です。早く環境に慣れて、実りある1年になるように精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

①研修医 ②熊本大学 ③平成 31 年



山村 理仁

脳神経外科へ入局して2年目、まだまだ未熟ですが、県北の救急や脳卒中の重要拠点である当院で経験を積んで精進したいと思います。よろしくお願いします。

①脳神経外科 ②熊本大学 ③平成 28 年



松岡 隼平

研修医2年目です。国立病院機構熊本医療センターから来ました。熊本市を出るのは初めてで、緊張しています。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

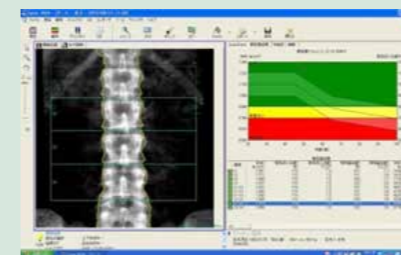
①研修医 ②熊本大学 ③平成 30 年

医療コラム -Medical columns for your helthy Life-

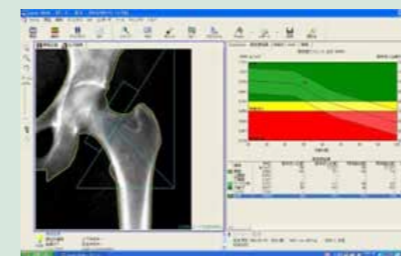
あなたの骨は大丈夫？ キニナル人は調べてみませんか？

最新の X 線を用いた骨密度測定装置を導入しました

放射線技術科
診療放射線技師 岩井智則



腰椎検査結果



大腿骨検査結果

骨密度を正確に測定する方法として、世界的にスタンダードな装置として位置付けられている骨密度測定装置「GE社製 PRODIGY FUGA」を導入しました。主に生活の質に大きな影響を与える腰椎や大腿骨などを測定し、骨折の原因となる骨粗しょう症の診断や、骨粗しょう症の治療効果の判定材料に使用します。検査時間は約5～10分と、短時間で測定が可能で、ベッド上に着衣のまま仰向けで寝るだけです。非常に微量のX線を用いて測定しますので、放射線による被ばくの心配もありません。測定された検査データは記録・保存されますので、定期的な検査による経過観察や経年変化量の推移など、正確な診断を行うことが可能です。

さらに、この装置の特長として、全身測定を行うことで、全身各部位の骨密度値とともに、体組成測定（脂肪量、非脂肪量、骨量）の計測が可能です。スポーツ医学領域やメタボリックシンドロームなどのダイエット、リハビリテーション分野でのモニタリングに適しています。また、慢性腎不全、肥満症、骨格筋量および骨格筋力の低下を特長とする症候群であるサルコペニアなどの観察が可能です。

ご自身の骨密度が気になる人は、ぜひこの機会に測定されてみてはいかがでしょうか。



教えて！マジックキー！
骨粗しょう症ってなに？

骨が弱くなり、骨折の危険が高まる骨格の病気だよ。脊椎の骨折で背中が曲がったり、寝たきりになったり、さらには死亡率を上昇させたりするなど、生活の質に悪影響をおよぼすから、市民病院はその対策に力を入れているんだ。

予防・治療できるの？

現在では、予防・診断、治療のためのプログラム・技術や治療薬が進歩したから、早い段階で危険を把握することで、良い効果を上げられてきているんだよ。

まずは何をすればいいの？

問診や骨密度測定などを行い、危険度を把握することが大切。僕のおススメは、市民病院が導入した新しい装置で検査すること。この装置は生活の質に大きな影響を与える腰椎や大腿骨の骨密度を、高精度に測定できるんだよ。

健康的な骨の維持が健康的な生活にもつながるから、骨は大切にしなきゃだね。

心臓病教室に参加しませんか

- 日時 6月20日(休) 午後3時～4時
 - テーマ 「老化と心不全」
 - 講師 市民病院副院長 梶原一郎
 - その他 市民病院副院長 梶原一郎
〒860-0811 荒尾市中央病院2階 ☎63・1115
- 講座は事前申込不要、参加費無料、場所は地域医療研修センター（市民病院・外来棟4階）です。お気軽にご参加ください。